



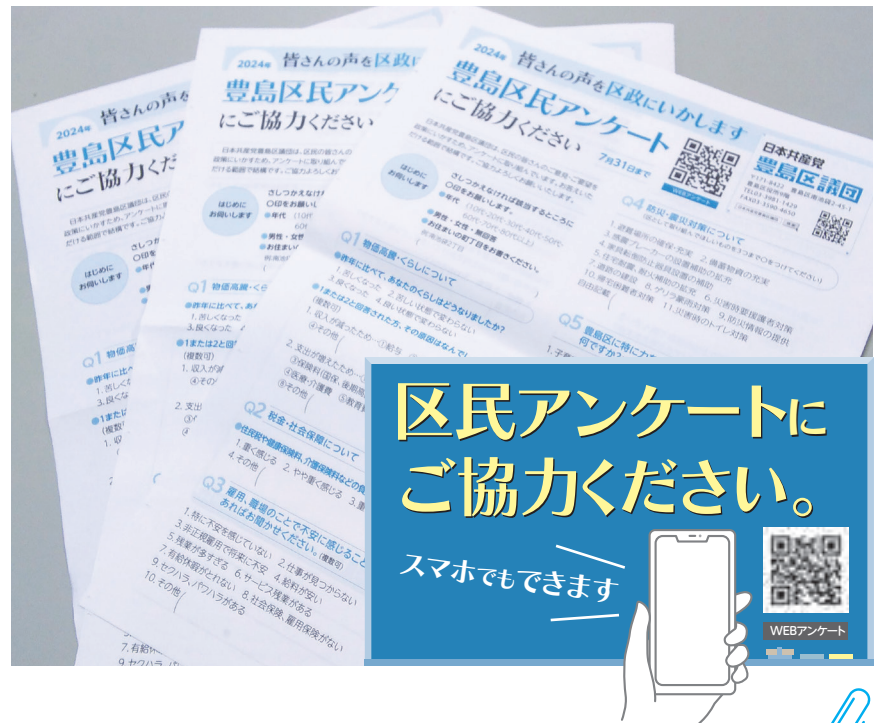
## 24年第1回 定例会

# 物価高騰、広がる格差と貧困 区民の切実な 要求実現を

日本共産党

2024年第1回定例会は、2月14日から3月26日の日程で開催されました。一般質問には、森とおる議員、清水みちこ議員がたち、物価高騰で困難になっている区民生活を支援する立場で区長に質しました。予算特別委員会は、森とおる議員、小林ひろみ議員が委員として審査にあたり、予算組替え動議を提案しましたが、日本共産党のみの賛成で否決されました。

また、国民健康保険料や介護保険料の引き下げを求める陳情、市街地再開発についての陳情が出されるなど、区民の切実な声が寄せられた議会でした。これらについては、区民要求実現の立場で区議団は奮闘しました。



## 2024年度 予算に反対

# 物価高騰で苦しむ区民の切実な要求に応えずに、大企業を優遇した予算編成

高際区長による初めての当初予算案は、前年度から新規拡充事業を2倍以上に増やし、日本共産党が要望してきた新規採用職員を2倍、産後ケア産後ドゥーラの充実、再生可能エネルギー機器への助成を倍にする、おたっしゅカード回数増が含まれるなどの前進面がありました。

しかし、防災対策については避難所が不足しており、低所得者や高齢者、障がい者、子育て、教育、中小企業対策等、物価高騰の影響でますます深刻になっている区民の暮らしと営業の支援策、救済策は不十分です。その上、後期高齢者医療の保険料値上げ、今でも高すぎる国民健康保険料がさらに値上げされることが盛り込まれています。

一方、東池袋一丁目、南池袋二丁目C地区の市街地再開発事業には82億円が計上され、今後5年間では541億円もの大企業優遇の税金投入です。その後も池袋駅西口、東口等の巨大開発が計画されていますが、厳しい生活を余儀なくされている区民への家賃助成等の住宅支援策の拡充はありません。いっそう貧困と格差が拡大されることになる、こうした予算は断固として認められません。

### 日本共産党が提案した 予算組替え動議の主な内容

#### 増額するもの

- 物価高騰について介護事業者、障がい者サービス事業者への支援金
- 物価高騰について中小企業への補助
- 高齢者補聴器購入費補助の増額
- 後期高齢者の窓口負担増への医療費補助
- 国民健康保険料の均等割を小学6年生まで無料にするための補助
- 介護保険料の値上げ分への補助
- 介護事業者・障がい者サービス事業者へのPCR検査補助
- 子育てファミリー世帯家賃助成事業の増額
- 低所得者、障がい者、高齢者、ひとり親、若者への新たな家賃助成
- 大学生・専門学校生の給付型奨学金制度の創設
- 就学援助費の増額(認定基準額の引き上げ)
- 私立、国立、フリースクール、インターナショナルスクールの学齢期の子の給食費相当の補助
- 家具転倒防止器具助成制度の創設

など

#### 減額するもの

- イケバス関係経費の減額
- 市街地再開発事業経費の減額